平成 29年度(28年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

松公	まちつ	うくりの目標 しゅうしゅう	安全で安心して暮らし続けられるまち	評	局名	都市整備局	
総合計画体系	政策	ŧ	安全で安心して暮らせる社会環境の形成	仙担	課室名	建築指導課	
	l l f	 色策	防災・減災対策の充実	当	電話番号	087-839-2488	
		基本事業	避難所などの耐震化及び急傾斜地崩壊防止対策の推進	事業	実施主体	市	
系		事務事業	住宅建築物耐震改修等事業	事業	期間	平成 28年度~平成 35年度	

【事業全体概要】

高松市耐震改修促進計画に基づき、地震発生時に市民生活の生命線となる緊急輸送道路を確保するため、民間建築物に対し、耐震診断及び耐震改修又は建替えに要する費用の一部を助成することにより、沿道の民間建築物の耐震化を促進する。地震時の建物の倒壊等によって発生する、人的及び経済的被害を軽減するため、住宅の耐震診断及び耐震改修に要する費用の一部を助成し、民間住宅の耐震化を促進する。また、法律の改正により、耐震診断が義務化された大規模建築物等に対し、耐震診断、補強設計、耐震改修の費用を助成することにより、耐震化の促進を図る。 事業の)概要

民間住宅の耐震診断棟数 2 民間住宅の耐震改修等棟数 緊急輸送道路沿いの耐震診断棟数 義務化建築物の耐震診断棟数 義務化建築物の補強設計棟数 2 2 2 棟(内H 2 9 繰越分 2 棟 1 8 0) 6 7 棟(内H 2 9 繰越分 1 棟 9 0 0) 数 1 棟 1 6 棟(内H 2 9 繰越分 2 棟 1 1 , 6 6 棟(内H 2 9 繰越分 3 棟 2 , 2 3 29年度

重点取組事業 -般重点 市長マニフェスト 事務事業の類型

【事業の目的】

高松市耐震改修促進計画に基づき、耐震改修工事予定の緊急輸送道路沿いの一定の条件を満たす民間建築物、耐 対象(何を) |震診断が義務化となった民間建築物及び民間住宅とする。

耐震診断や耐震改修にかかる費用負担を軽くするための補助制度を設けることにより、住宅・建築物の耐震化を 意図(どのような 促進し、地震時の建物の倒壊等によって発生する人的及び経済的被害を軽減する。 状態にしたいか)

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
民間住宅の耐震診断実施済棟数	棟			203	222	160
民間住宅の耐震改修実施済棟数	棟			52	51	40

【事業の成果】

	F来07000不 I								
	成果指標名(どのような成果が得られたか	١)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
	民間住宅の耐震診断実施済棟数(累積)		棟	目標値			760	920	1,080
_+			実績値			719			
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成で	ごきたか)	1400						〔達成度〕
指	単年度では目標値を達成することができたが () 、累積では達成できなかった。	目標達成度)	1200- 1000-				A		
作示	、赤根では足が、ことがプラル。		800- 600-			•			94.6%
		~~	400	-					
	'	~~~	200 <u>-</u> 0-		1	1 1			33点
			H2	4 H25	H26	H27 H28	H29 H30	H31 L	
	成果指標名(どのような成果が得られたか	١)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
	民間住宅の耐震改修実施済棟数(累積)		棟	目標値			230	270	310
_+				実績値			241		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								〔達成度〕
指	単年度及び累積ともに目標値を達成できた。 (()	目標達成度)	300-						
作示			200-			<u></u>		L	104.8%
		~~	100-					[
		\sim	<u>_</u>			1 1	1 1		35点
		*	H2	4 H25	H26	H27 H28	H29 H30	H31 L	

【コストの推移】

_	T = X T OUT OUT OUT OUT OUT OUT OUT OUT OUT O								
	指標名	単位	平成 26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成 28年度(決算)	平成 29年度(予算)			
I	トータルコスト	[千円]	94,296	156,442	247,396	300,414			
	(事業費)	[千円]	68,462	129,956	220,310	273,328			
ı	(職員人件費)	仟円1	25.834	26,486	27,086	27,086			

【評価】

評価ランク	٨	今後の方向性	404 41
(A~D)	A	(拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

県と協調して、住宅に対する補助制度の大幅な拡充を行い、単年度の目標値を達成することができた。しかし、民間事業者が主体であるため、耐震化が計画的にコントロールできないことが課題である。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

対象建築物の所有者等への個別訪問に加え、出張相談会の回数の増加や、各地域のコミュニティ、自主防災組織の活動の機会に説明を実施 し、耐震化の必要性及び重要性の啓発に努め、さらなる事業の促進を図る。